



◆東海地方 2016年3月 景気判断 コメント抜粋

	分野	判断	判断の理由
現状	家計動向関連	やや良	新入学、新社会時へのお祝いや、新生活に向けた買換え時期で、客の財布のひもも若干緩んでいる。〈衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)〉
		不変	来客数の微減と客単価の微増の傾向は、年明け以降変化がない。マイナス金利の影響も、個人消費にはほとんどないようである。〈スーパー(営業企画)〉
		やや悪	相変わらず、客単価が低く、販売量や売上高の改善につながらない。〈商店街(代表者)〉
	企業動向関連	やや良	引っ越しのシーズンであるが、例年に比べると受注件数が多い。法人の移転が増えているので、会社関係の需要が増えている。
		不変	中国、アジア経済の減速や米国経済の不透明感、春闘妥結額の前年からの低下や消費税増税等により、心理的な負担感が増えている。〈通信会社(法人営業担当)〉
		やや悪	発送便、到着便共に増加はしているが、受注単価が安くコストを吸収できないため利益は減っている。〈輸送業(エリア担当)〉
	雇用関連	やや良	3月の求人数は過去5年で最高となっている。前年同月比で120%、3ヶ月前と比較すると約130%と増加している。〈人材派遣会社(支店長)〉
		不変	新規求職者数、新規求人数共に、3ヶ月前と比較すると2割程度増加している。前年同月比では、新規求職者が微増で、新規求人数は25%ほど増加が続いている。〈職業安定所(所長)〉
		不変	年度末の予算消化等もあり、採用決定への動きは強まっているが、人事担当者が新卒採用に追われ、採用のスピードはやや鈍化している。〈民間職業紹介機関(営業担当)〉
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計動向関連	やや良	春夏物へ商品の入替えが始まり、商品にもよるが動きが良い。客の購買意欲の高まりが期待できる。〈スーパー(販売担当)〉
		不変	消費者の懐具合が改善しないと景気は良くならない。消費税増税を先に伸ばすか、大きな改善がなければ、以前のような購買意欲は戻ってこない。〈スーパー(販売促進担当)〉
		やや悪	団体宿泊客が伸び悩み、食堂利用も減少している。これからハイシーズンとなる婚礼客も、受注状況は前年同期を二けた下回っており、良くなる見通しはない。〈観光型ホテル(販売担当)〉
	企業動向関連	やや良	企業内で人の動きが活発になっており、組織が活性化し、活力が生まれる。景気の動きにも影響を与え、景気は上向く。〈輸送業(エリア担当)〉
		不変	ほぼフル生産の状態がずっと続いている。客先の状況も今後2~3ヶ月はほぼ横ばいという話が多く、しばらくは好況が続く見込みである。〈窯業・土石製品製造業(社員)〉
		やや悪	先行きも、海外の経済情勢やテロ等の様々な要因で、企業の設備投資や個人の株式投資等が安心して行えない状況が続き、景気は引き続き低迷すると思われる。〈化学工業(人事担当)〉
	雇用関連	やや良	学内企業説明会への企業の参加意欲が高く、日期的にも容量的にも一杯で、一部を断っている状況である。〈学校〔専門学校〕(就職担当)〉
		不変	大手自動車メーカーでの2月の生産ライン停止に伴う巻き返しの生産増加は、4月以降にずれ込むが、景気としては、変わりはないと見込まれる。〈アウトソーシング企業(エリア担当)〉
やや悪		業種間で差異はあるが、更新求人では賃金等の労働条件を下げる案件が、2割程度出てきている。在職者も含む求職者では、業種を変える希望者が多くなっている。〈職業安定所(所長)〉	